



第35回 伊吹文明政経セミナー・御案内

「社会の掟である道義・規範を考える」 —「世間さま」を探す一日の旅—

2018 サマーセミナー

主催 衆議院議員 伊吹文明後援会
新しいいぶきの会

日本は自由経済で発展し、豊かで行きとどいた現在を享受しています。事ごとを決める主権は国民にあり、議員を選び主権を託し、多数決による民主制で国や自治体は運営されます。社会は法律と暗黙の約束ごとである「掟」に護られ、世界一安全な国と言われます。しかし、当たり前と思っている平和は揺るぎ始め、国内の秩序や経済にも、ほころびが目立ちます。

当然と思い込んでいる自由、国民主権の民主制を完全に手に入れたのは終戦後で、それを使う難しさの経験年数は、欧米の国と比べかなり短いのが歴史の現実です。自由は統制に勝り、市場経済は計画経済より効率的で、民主制は独裁制より安定した統治を可能にすると言われます。個人の思い込み、独断は意思決定を誤らせるからです。

だが、個人は間違いますが、多数もまた間違っています。自由は我がままとなり、自由競争は結果重視の強者の論理に、そして民主制は大衆迎合のポピュリズムに陥る場合があります。それは自由や民主制を扱うのが人間だからです。「保守主義」と言われる政治理念は、その時々自由や民主制を扱うに当り、その時々判断に加え、永年に亘り醸成され、民族が磨きあげ伝えてきた「掟」、「伝統的規範」を重視することを求めます。保守主義の泰斗ハイエクは、これを「自生的秩序」と呼んでいます。

私達日本民族は、この「掟」を「世間さま」、「お天道さま」と呼んできました。神道、仏教、儒教の影響を受けた農耕民族である祖先が残してくれた「世間さま」は、今の世相ではどこにおられるのでしょうか。豊かさのなかで姿を消された「世間さま」を一流の先生と一緒に探してみましょ。

- と き 8月3日(金) 午前9時00分(受付開始)～午後4時50分(終了)
- と ころ 国立京都国際会館(左京区宝ヶ池 ☎705-1234代)
- 会 費 14,000円/1名様(実費:但し、先着200名様限り)
- 主 催 衆議院議員 伊吹文明後援会 新しいいぶきの会
京都市下京区四條通東洞院角 フコク生命ビル3階 ☎211-1717(代)

SUMMER SEMINAR PROGRAM

総司会 龍谷大学渉外顧問 藤本 圭司先生
開会式・オリエンテーション ◀9:30～ 9:40▶

(I) 開会挨拶と問題提起 社会秩序を護る法と掟 ◀9:40～10:00▶

衆議院議員 伊吹文明

法治国家以前から、日本の秩序・平安を支えた「掟」は、五穀を恵む大自然への畏敬と感謝の神道、慈悲の仏教、仁義礼の儒教を基に祖先が紡いだ生き方即ち日本人の文化です。忠と義の武士道、勤勉の農本主義、技への誇りの匠、公の為に利を求めた商人道等々。豊かな法治国家の現在、政官財そして宗教界にすら、法律以前の「掟」に反することの多い世相です。皆で「掟」を考えてみる一日としましょ。

(II) 講演 保守の原点としての伝統的規範 ◀10:00～11:10▶

—明治維新・終戦・そして現在の日本人—

京都大学名誉教授 佐伯 啓思先生

保守主義は「自分は間違う」との謙虚な思想で、多数で決める民主制や自由社会の擁護者です。しかし、民主制や自由経済が間違う時には、保守主義は醸成された伝統的規範により、その誤りを正そうとします。人類共通の倫理感と民族特有の生き方から生れた日本的規範は、明治維新、終戦、グローバリズムとITの現在まで、どう変わったのかをおなじみの佐伯先生にご教示いただきます。

(III) 講演 京都に棲み続ける「世間さま」 ◀11:10～12:20▶

—巨大村落都市としての洛中—

同志社女子大学教授 山田 邦和先生

明治維新までの千百年余、京都に居られた天皇は権力や富の王でなく、日本人の生き方の具現者として敬愛される文化・権威の王でした。この権威を利用すべく上京する人々を相手に、京町衆は日々を生き抜くなかで、地域や職域に独自の「掟」を育み、「掟」を護らぬ人は「世間さまに顔向けできぬ人」として疎外されたのです。京都の今を含め山田先生に京町衆の生き方を学びましょ。

昼 食 ◀12:20～13:20▶

(IV) 講演 「世間さま」を育てた神様 ◀13:20～14:30▶

—畏敬・謙虚さと絆の民俗信仰—

賀茂別雷神社宮司 田中安比呂先生

日本人の「掟」は、神道、仏教、儒教により醸成されたと言われます。特に国家神道以前の民俗信仰としての神道は、農耕民族であった日本人の拠り処でした。雨と陽光を恵んでくれるが人智を超えた自然への感謝と畏敬の気持ちを持ち、助け合い農耕に従事しました。その地域社会の中心がお社(やしろ)、鎮守の森でした。昔の京都の住人・賀茂族は、ご神体・神山に何を見たのか—田中先生に教えて頂きます。

コーヒー・ブレイク ◀14:30～14:50▶

(V) 講演 絶滅危惧種となる「世間さま」 ◀14:50～16:00▶

—永田町・霞ヶ関・丸の内の原風景—

日本経済新聞論説フェロー 芹川 洋一先生

グローバリズムによる異文化の流入、情報の迅速な伝達の反面心情の伝達や多数の協議が難しいネット社会には、「世間さま」は住みにくいようです。政官財の最近の道義なき惨状は、法律を超える道義が求められるリーダーの質の低下を思わせます。この現状は何故生じたのか。永田町・霞ヶ関・丸の内の永年の取材から、日経の芹川前論説委員長長の分析です。

懇親パーティ ◀16:00～16:50▶

きりとらせん

第35回伊吹文明政経セミナー

2018 SUMMER SEMINAR

受講券



ご自宅住所

〒 ☎

お名前

年令 才

貴社名

★ご来場の節は、必要事項をご記入の上、受付にご提示下さい。
(ご記入はボールペンにてお願いします。)

★先着200名様限りとしていますので、お申し込み後のお取消しはご容赦下さい。